



JR東日本

中央線が好きだ。

magazine

vol.3 2015

青女歩の達人

国分寺 西国分寺



国分寺市プレイステーション



1〜7.プレイラーが、事前に危険な物や箇所を確認し、常に安全に配慮しているため、オープンしてから大きな事故は一度もないという。スコップで地面を掘って水路を作るなど、自然の中で遊んでいる。6は常勤のプレイラー、[ゆうじ]こと奥富裕司さん。



子どもたちのやりたいことがかなう遊び場

“子どもたちの希望を最大限かなえる”がテーマのユニークな遊び場。屋外には手作りの大きな遊具が数台置かれ、室内には子ども部屋もある。一般の公園と大きく違うのはプレイラーの存在で、子どもたちのやりたい気持ちを大事に、遊びを応援したり手助けをしている。昆虫を捕ったり、遊具で遊んだり、ノコギリやトンカチなどを自由に使っているものを作ったりもできる。火起こしなど他ではなかなかできない、火を身近に感じる体験も。

DATA JR中央線国分寺駅南口または西国分寺駅南口から徒歩約20分。10時〜17時。月曜、祝日、第1・3・5日曜、年末年始休。無料。国分寺市西元町3-26-35。☎042-323-8550

こんなところに住んでみたい
この街、
居心地・
住み心地

国分寺も西国分寺も、駅のすぐそばから静かな住宅地が広がり、少し離れたところと豊かな自然の風景にも出会うことができる。こののどかな街並みは住民が求め、守ってきたもの。そんな史跡と清流、武蔵野の風景が残る街に出かけてみよう。



お蔵の道

国分寺ファーマーズマーケット

殿ヶ谷庭園

本多俊一さんの農産物直売所

史跡の駅 おたカフェ

街中で自然と自由を感じたい。

国分寺まつり

“ひろげよう 市民の輪”がテーマ

武蔵国分寺公園を会場にした市内最大のイベント。今年は11月1日(日)に開催される。例年約3万もの人が集まり、ステージでの歌やダンスの出し物、パレード、模擬店のほか、国分寺の歴史に基づくパフォーマンスなども予定されている。姉妹都市である新潟県佐渡市の伝統芸能の披露や物産直売も行われる。

DATA ☎042-573-4378(国分寺まつり実行委員会事務局)



ふたつの違った雰囲気をもつ公園

道をへだてて南北に分かれている都立公園で、それぞれ雰囲気の違いが楽しい。北側は、かつて国鉄の中央鉄道学園があった跡地で、直径160mの芝で覆われた「円形広場」が中心にあり開放感抜群。外周に木立が並び、その周囲に池や休憩所が配されている。車道に架かるふれあい橋を渡った南側は、北側と対照的に自然を生かしたつくりだ。起伏のある芝地の中に樹木が繁る「こもれび広場」を中心に、南端には雑木林もある。

DATA JR中央線国分寺駅南口から徒歩約10分または西国分寺駅南口から徒歩約7分。☎042-323-8123

2 1

4 3

5 1

6 1

7 6

武蔵国分寺公園

1.カルガモなどが飛来する武蔵の池。2.北側の円形広場。3.この場所が以前、中央鉄道学園だったことを示す蒸気機関車の動輪をモチーフとした記念碑。4.南側のこもれび広場は、秋のウォーキングイベント「ぶんぶんウォーク」の会場となる。

国 分寺の地名の由来は古代にまでさかのぼる。天平13年(741)、天災や疫病、内政の乱れを憂えた聖武天皇が、仏教によってそれらを鎮めるため各地に国分寺を建立した。その中で最大規模といわれるのが武蔵国分寺だ。この寺の名が今に伝わって地名となっている。発掘された遺構から、街の歴史の深さを感じられる。

この街の特徴のひとつに市の南側を東西に走る国分寺崖線がある。「はけ」とも呼ばれる高低差の大きな崖の間から水が湧き出し、独特の景観を生んでいる。中でもお蔵の道・真姿の池湧水群は名水百選のひとつに選ばれており、市民の憩いの場にもなっている。

そんな街の住宅地を歩いていて目につくのが、あちこちに残る雑木林。身近な自然は子どもたちにとっ

ではさまざまな生物との出会いや経験の場であり、大人には散歩の楽しみと安らぎを与えてくれる。

農家や畑の一角にある農産物直売所もこの街の風景のひとつ。日常的に採れたての、季節の野菜や果物が手に入る。周囲に農家や畑がなくとも、国分寺ファーマーズ・マーケットが強い味方になってくれる。

国分寺には親子で楽しめる公園がいくつもある。武蔵国分寺公園ではボール遊びやかけっこができる広々とした芝生や、お蔵の道へつながる野鳥の森など、楽しみが尽きない。武蔵国分寺跡に隣り合う黒鐘公園はバラエティーに富んだ遊具がそろった子どもたちのお気に入りの場所。国分寺市プレイステーションは泥んこになって自由に遊べるとあって、連日親子や小学生でにぎわっている。



崖を生かした回遊式庭園

殿ヶ谷戸庭園

もとは旧三菱財閥の岩崎彦彌太氏の別邸で、東京都が買収後に整備し、昭和54年に開園した。崖(け)を生かした庭園がみどころで、見通しのいい芝地が広がり、坂を下るとさまざまな樹木や草花が現われ、崖下には湧き水が注ぐ池がある。回遊式林泉庭園で、歩を進めるに従い景色が変わっていくのが楽しい。

DATA JR中央線国分寺駅南口から徒歩約2分。9時～17時(入園は16時30分まで)、年末年始休。大人150円ほか(5月4日<みどりの日>・10月1日<都民の日>は無料)。国分寺市南町2丁目。☎042・324・7991



上/次郎弁天池から見上げる茶室「紅葉亭」。下/入り口近くの芝地。奥に見えるのは別邸の一部を利用した展示室。

武蔵国分寺跡・武蔵国分尼寺跡

奈良時代に創建された寺院の跡で、各地にある国分寺と比べても規模が大きなものだったという。国指定の史跡だが、一見すると広々とした原っぱの開放的な空間で、子どもたちの恰好の遊び場になっている。遺構の説明板があったり、尼僧の暮らしていた尼坊跡には礎石が復元されるなど、歴史の一端を見ることが出来る。

DATA 武蔵国分寺跡/JR中央線西国分寺駅南口から徒歩約15分。国分寺市西元町1～4丁目付近。武蔵国分尼寺跡/JR中央線西国分寺駅南口から徒歩約8分。国分寺市西元町4-1ほか。☎042・300・0073(国分寺市ふるさと文化財課)



上/七重塔跡。おたかの道湧水園には復元模型がある。中/武蔵国分尼寺跡で発掘された尼坊の礎石を復元している。下/武蔵国分寺の金堂跡は広々とした原っぱ。



歴史を感じる広々とした空間



多根果実店の旬のフルーツタルト

フルーツいっぱいのケーキをぜひ味わってください。



上/3代目の延命真一郎さん。右/旬のフルーツを使ったケーキは人気で、早い時間に売り切れることも。



フルーツのおいしさが引き立つケーキ

多根果実店

昭和7年(1932)創業の果物&ケーキ店。フルーツをたっぷり使った自家製ケーキが人気。シェフを目指していた3代目オーナーの延命真一郎さんが、平成15年に店のフルーツを使ったケーキを出したところ好評で、ケーキ作り一筋に。平成25年に国分寺駅北口再開発を機に現在地に移転し、2階にカフェを設け、ケーキと飲み物を楽しめるようになった。

DATA JR中央線国分寺駅北口から徒歩約3分。11時～24時、不定休。国分寺市本町2-23-2。☎042・321・0180



鎌倉時代の名残を感じる切通し

かつて切通しの上には、寺院があったという。

伝鎌倉街道

西国分寺駅から武蔵野線沿いに南に歩いていくと、突然樹木の生い茂った自然豊かな切通しの道が現れる。ここは鎌倉時代に、幕府の置かれた鎌倉と各地を結んだ鎌倉街道のひとつだといわれ、120mほどの道だが、かつての雰囲気を残す道として保存されている。この道を出ると目の前には武蔵国分尼寺跡がある。

DATA JR中央線西国分寺駅南口から徒歩約10分。国分寺市西元町4丁目付近。☎042・325・0111(国分寺市観光協会)



朝は鳥の声で目覚めるほど身近に自然があります。

認定NPO法人冒険遊び場の会代表 武藤陽子さん

地域で子育てができる環境を目標に、子育て支援はこれからもさらに充実しそうだ。

その一例として街の景観がある。庭園や公園などのいくつかは市民の強い意向を受け、市が整備したもの。この緑の多い、ゆったりとした街並みは、市民の思いが形になったものなのだ。

こうした活動の中で、他の市民団体とのつながりができてきた。「さまざまな活動をしている人がたくさんいて、この街を支えているのを実感しました」

武藤さんたちが作った認定NPO法人「冒険遊び場の会」が市から委託されて運営している。このNPOは市内のいくつかの公園にプレイリーダーが出張したり、駅前に妊婦さんと乳幼児を持つ親のためのサロンを開いたり子育て支援の場を広げている。

「ここには幼児から、学校帰りの高校生まで遊びに来ます。友達や親にも話しくいことをプレイリーダーになら話せるみたいです」

国分寺市プレイステーションは、

「はじめてプレイステーションを訪れたとき、子どもたちが生き生きとしていて、なんて素敵なお場所なんだろうと思いました」

と語るのは現在、国分寺市プレイステーションの代表を務める武藤陽子さん。もう20年以上前、当時、1歳と3歳の子育て中だった武藤さんにとって、子どもの自主性を大切に遊ぶ場というコンセプトは目からうろこだったという。

「ここには幼児から、学校帰りの高校生まで遊びに来ます。友達や親にも話しくいことをプレイリーダーになら話せるみたいです」

国分寺の魅力

この人に聞く

落ち着いた住宅地と豊かな自然に恵まれた国分寺・西国分寺エリアは、散歩におすすめの場所が集まっている。親子で一日たっぷり楽しみたい。

地元的新鲜野菜がそろっている午前中がおすすめです。



国分寺ファーマーズ・マーケット

国分寺を中心に周辺の農家で生産された野菜、果物、花や植木が並ぶ直売所。野菜類はすべて朝採りのものが並ぶ。地元の野菜や果物を使ったドレッシングやジャムのほか、惣菜やパン、酒類も販売している。人気の豚肉「TOKYO X」は毎週金曜に入荷すると、即日完売することもあるほど。

種類豊富な新鮮野菜が並ぶ



左/店内の様子。地元のトマトやブルーベリーで作ったドレッシングが人気。上/副店長の土野正隆さん。

DATA JR中央線国分寺駅北口からバス約5分の「東恋ヶ窪」下車徒歩約3分。10時～17時、水曜・夏期・年末年始休。国分寺市東恋ヶ窪4-23-8。☎042・324・2115

おばあさんの知恵袋

扉を開けると、右手の壁一面に天井まで絵本や児童書がぎっしり。すべて店長の三田村さんが選んだものだ。毎週金曜は、乳幼児向けに読み語りをする「おはなし会」を行っているほか、レンタルスペースとして連日親子のためのイベントが開催されている。奥には授乳やおむつ替えのできるキッズスペースもある。



読み語りをする絵本と児童書の専門店

左/イベントスペースとしても使われる店内。店名は以前、店長のお母さんがスタッフをしていたときにつけたもの。右/オーナーの三田村慶春さん。

DATA JR中央線国分寺駅南口から徒歩約2分。10時～21時、無休。国分寺市南町2-18-3 国分寺マンジョンB-03A。☎042・324・2708

国分寺 まち歩き

手作りのバードハウス



お子さんも楽しく遊べるスペースがありますよ。

童心にかえるカフェ

上/オーナーの影山知明さん。左/コーヒーのテイクアウトが可能で、コーヒー豆、クッキーやマフィンなども販売。下/駅近くにありながら周囲は落ち着いた雰囲気。

クルミドコーヒー

店内は森の中をイメージした木の温もりを感じさせるインテリア。コーヒーは、常温の水で5～8時間かけて抽出する水出し方式で、さっぱりしたやさしい味わいが特徴。脚の長さ30cmの小さなイスは、子どもの目線を感じてもらいたいという意図があり、大人も使用可。飲み物、食べ物とも子ども用の少量サイズを用意。

DATA JR中央線西国分寺駅南口から徒歩約1分。10時30分～22時L.O. 木曜休。国分寺市東町3-37-34 マージュ西国分寺1F。☎042・401・0321

黒鐘公園

ローラー滑り台やクライミングウォールなど、山の斜面を生かしたダイナミックな遊具が子どもたちに人気の公園。そのほか普通の滑り台、シーソー、トンネル遊具などもある。山を上ると雑木林の中に遊歩道があり、親子で散策を楽しめる。春には桜も美しく咲き誇り、秋の紅葉も見ごたえがある。

DATA JR中央線西国分寺駅南口から徒歩約10分。国分寺市西元町4-10-47。☎042・325・0111(国分寺市緑と建築課)

左/緑も豊かで散策にぴったり。下/遊具の種類が豊富で幅広い年齢層の子どもが楽しめる。



山を生かした遊具が大人気



昭和33年当時の国分寺駅北口。
写真提供：武蔵国分寺跡資料館

街

History in this town
の生い立ち

今、駅前再開発の真っ最中にある国分寺。
その歴史と街の風景の変化をたどってみよう。

国分寺

国分寺市内の遺跡から石器が発掘され、日本の人類史の最初期、約3万5000年前から、ここでは人々が生活を営んでいたことがわかっているという。

それから長い間、雑木林や農村、そして尾張徳川家のお鷹場などとして時を刻んだこの地域に新風をもたらしたのは明治22年（1889）の国分寺駅の開業だった。当時は北口のみが開設されたが、駅周辺には次第に商店が増え

ていき、その後、明治末期から昭和初期にかけて、東京の都市化が進む中でこの近辺に多くの別荘が建てられていった。殿ヶ谷戸庭園などにその名残を見ることが出来る。

また少し年長の方なら覚えてい

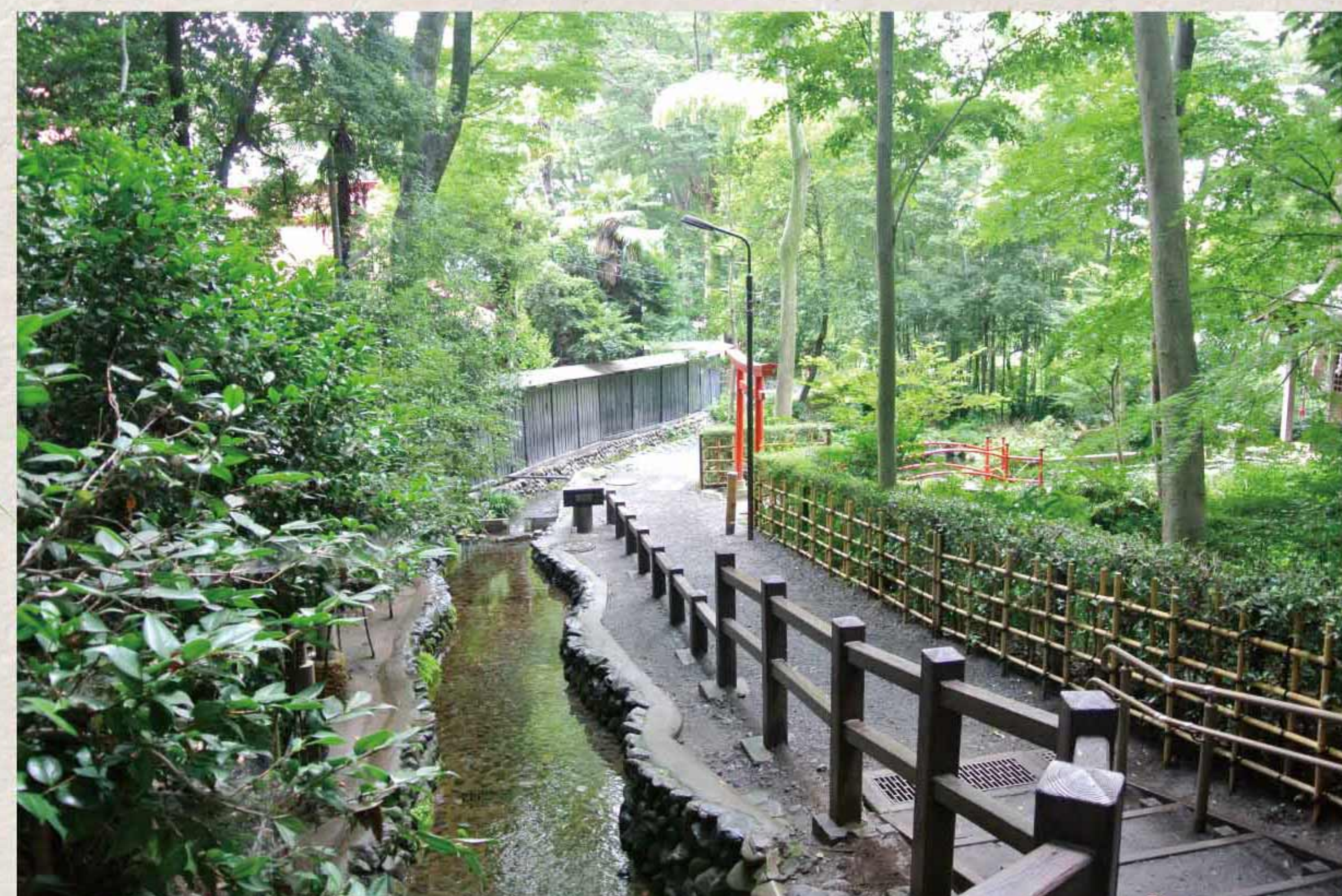
る施設が中央鉄道学園だ。明治42年（1909）、鉄道職員の教育機関として開設され、昭和62年まで運営された。その跡地にあるのが武蔵国分寺公園だ。

そしてもうひとつ、国分寺市の歴史の中で忘れてならないのが、この街が日本の宇宙開発発祥の地だということだ。昭和30年、日本の宇宙開発の父と呼ばれる糸川英夫博士らによって現在の早稲田実業学校の敷地内で、長さ23cmのペンシルロケットの発射実験が日本で初めて行われた。この実験の50年後、平成17年にスペースシャトル「デイスカバリー号」に搭乗した野口聡一さんは、実際に実験で使ったペンシルロケットを国際宇宙ステーションに持ち込んだ。



早稲田実業学校にある「日本の宇宙開発発祥の地」顕彰碑。正門の外にあるので自由に見ることができる。

今、国分寺駅北口は大規模な再開発が進んでいる。まだ記憶に新しい北口の風景が過去のものとなり、3年後には駅前にはツインタワーが完成する予定だ。新たなランドマークの誕生が街にどのような変化をもたらすのか、期待して見ていよう。



お鷹の道

湧き水の水路沿いに350mほどの遊歩道が整備されている。近くには国分寺や武蔵国分寺跡などがあり、散策にぴったり。江戸時代、付近が尾張徳川家の鷹狩の場に指定されていたことから「お鷹の道」の名がついた。

DATA JR中央線国分寺駅南口から徒歩約13分または西国分寺駅南口から徒歩約15分。国分寺市東元町3丁目・西元町1丁目。☎042・325・0111（国分寺市観光協会）

史跡の駅 おたカフェ

お鷹の道沿いにある森の中のカフェ。国分寺の野菜や果物を使った食事やデザート、飲み物などを提供しているが、持参の弁当なども持ち込める。店内には付近の地図などがあるほか、地元の果物を使った手作りジャムなど、国分寺の特産品の販売もしている。



DATA JR中央線国分寺駅南口から徒歩約17分または西国分寺駅南口から徒歩約15分。9時～17時。月曜（祝日・振替休日の場合は翌日）・年末年始休。国分寺市西元町1-13-6。☎042・312・2878



真姿の池

湧き水が集まってできた池に弁財天が祀られているお堂がある。平安時代に絶世の美女、玉造小町が武蔵国分寺の薬師如来の霊示を受け、池に入って病気を癒やしたという言い伝えが残っている。

DATA JR中央線国分寺駅南口から徒歩約15分または西国分寺駅南口から徒歩約17分。国分寺市西元町1丁目。☎042・325・0111（国分寺市観光協会）



おたかの道湧水園

お鷹の道の北側に作られた有料の庭園施設。入り口に江戸時代の名主・本多家の長屋門、園内には蔵が残されている。一歩足を踏み入ると樹木が繁り、四季折々の変化が楽しめ、奥には武蔵国分寺跡資料館が併設され、入園者は自由に入館できる。

DATA JR中央線国分寺駅南口から徒歩約17分または西国分寺駅南口から徒歩約15分。9時～17時（入園は16時45分まで）、月曜（祝日・振替休日の場合は翌日）・年末年始休。100円。国分寺市西元町1-13-10。☎042・323・4103（武蔵国分寺跡資料館）



店主の本多俊一さん

本多俊一さんの農産物直売所

お鷹の道付近には農産物の直売所がいくつかあり、中でもここは50年近く前から販売を行っている老舗格。本多さんの農園で採れた新鮮な15種類ほどの野菜や果物のほか、烏骨鶏の卵なども置いている。地域でも有名な直売所なので、午前中に売り切れてしまうものもある。

DATA JR中央線国分寺駅南口から徒歩約15分または西国分寺駅南口から徒歩約17分。不定休。国分寺市東元町3-19-9。☎042・321・5303

最新号『散歩の達人』11月号 発売中

(10月21日発売)

巻頭特集

いわば「多摩丘陵の首都」なのだ！

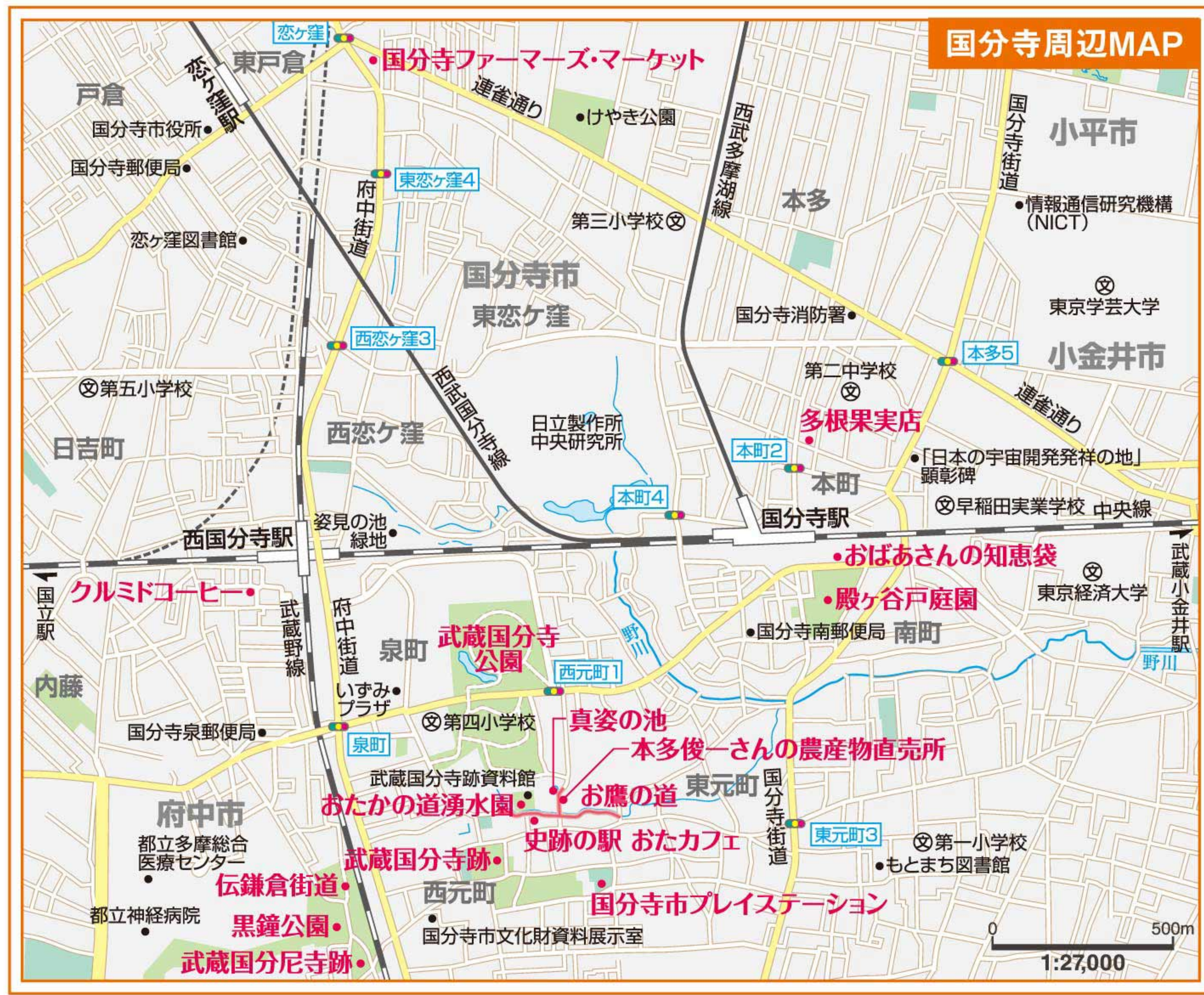
町田

オシャレカフェがあると思えば、昭和的横丁も残り、秋葉原や渋谷に次ぐような新世代カルチャーも生まれつつある。都会と里山の醍醐味を一緒に味わえる、懐の広い旬な街を存分に楽しもう！町田街歩き 駅の周り編・駅から遠い編／散策流 ザベスト・オブ山頂山フットパス／白洲正子の「鶴川日記」を歩く／次世代サブカルタウンの胎動 12月号（11月21日発売予定）は「東京みやげ」を特集予定。



※本冊子の情報は2015年10月現在のものです。※料金・営業時間・休園（館）日、イベント内容・期間などは変更になる場合がありますので、事前にご確認ください。※営業時間・休園（館）日はゴールデンウィーク、お盆、秋の連休、年末年始などは変更になる場合があります。※掲載の写真・地図などは全てイメージです。

中央線が好きだ。マガジン 2015 vol.3
2015年10月発行
発行 東日本旅客鉄道株式会社 八王子支社
制作 株式会社ジェイアール東日本企画
編集 株式会社交通新聞社
表紙写真 小嶋裕



国分寺周辺MAP

1:27,000

ののわ

地域で出会った人

街歩きイベントで地域の活性化を図る



昨年のぶんぶんウォーク「史跡湧水タウン」での模擬店の様子。

「国分寺再発見」をテーマに、街中をのんびり歩いて、国分寺の良さを知ってもらうことを目的としたイベント「ぶんぶんウォーク」。毎年開催されており、平成27年の11月で5回目となる。

その発起人のひとりが高浜さん、この地域の魅力を多くの人に伝えたいと思っていた。「史跡の駅 おたカフェ」を運営する高浜洋平さんだった。おたカフェの開業は平成21年



高浜洋平さん
ぶんぶんウォーク 発起人

で、その前年にクルミドコーヒーとカフェスローという、2軒のカフェがオープンしていた。

「それぞれの店主や近くのギャラリーの店主と、カフェやギャラリーをめくりながら街をそぞろ歩きする。そのようなイベントができたなら楽しいね」と話していたのがきっかけです。そこからさらに別のギャラリーなどが加わり、約30団体が集まり、イベントの実行委員会ができました。約半年の準備期間を経て、平成23年9月に第1回ぶんぶんウォークが開催された。

地元産の野菜、飲食関連、クラフト雑貨やアートなど多彩な模擬店、親子向けのさまざまなイベント、映画の上映まであり、予想以上の成功を収めた。その後、毎年徐々に規模が拡大し、昨年は80以上の団体が参加し、2万5000人ほどの集客があったという。この中で高浜さんが

Information

第5回ぶんぶんウォークは平成27年11月22日(日)・23日(月・祝)に開催。JR中央線国分寺駅・西国分寺駅の南側に「ピクニックタウン」「史跡湧水タウン」「スロータウン」「ブックタウン」「親子タウン」「アートタウン」の6つのエリアを設け、それぞれのエリアで独自の企画を予定している。



もつとも力を入れていたのが、レストランやカフェに地元産の野菜を使った特別メニューを出してもらうこと。

「国分寺野菜は、新鮮で安心安全なのに、普段は入手しにくいんです。だからこそこれを機に飲食店の店主や地元の人たちにその良さを知ってもらいたい」

と、おたカフェ周辺の「史跡湧水タウン」では、その場でおいしく食べられる産直市場「KOKUBUNJI TABLES」を開催。他にも市内25店舗ほどの飲食店と農家を結び「地場野菜 de グルメ」企画に携わっている。

高浜さんはぶんぶんウォークの今後について、「エリア内の店主や団体の人たちは顔見知りになりました。人と人をつなぐ基礎固めはできてきたので、このプラットフォームを活用してさまざまな地域づくりの試みに展開できれば」と話す。ぶんぶんウォークは、これからさらなる進化を遂げそうだ。

TOPICS

秋の「ののみち」は楽しいイベントが満載!

武蔵境駅～東小金井駅間をつなぐ高架下回遊歩行空間「ののみち」および高架下のショップが、11月に開業1周年を迎えるにあたり、さまざまなイベントを開催。みんなで仮装して「ののみち」を歩くハロウィンパレードのほか、地元のお店が集まるマルシェや高架下で地域の方々と一緒にガーデンを作るガーデニングイベントなど、見逃がせないものばかり。秋の装い深まる「ののみち」に、ぜひ遊びにお越しください!



昨年のマルシェイベントの様子



昨年実施したハロウィンパレードの様子

詳細情報は右記URLで <http://www.nonowa.co.jp/>

※内容は変更になる場合がございます。

ののわプロジェクトとは

「ののわ」は、「緑×人×街 つながる」を合言葉に、中央線の立体交差化で北と南がつながった三鷹から立川間の魅力を引き出すプロジェクト。「nonowa(ののわ)」※は、豊かな自然や、個性ある文化と駅と街をつなぐ、「武蔵野の『輪・和』になりたい」という願いを込めて名付けられたプロジェクトの名称です。東京のまん中にあるこのエリアで、地域の魅力を共有し、暮らし方や働き方を見つめ直すことで、この地域ならではのライフスタイルを探っていきます。



武蔵野3原色の「土・水・緑」の「わ」が重なる「nonowa」のハート。中央線の自然と文化が融合し、新しいライフスタイルがはじまります。

ののわウェブサイト
<http://www.nonowa.co.jp/areamagazine/>

※株式会社JR中央ラインモールが運営する商業施設の名称としては、英文字で「nonowa」と表記しています。